

2023年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年10月14日

上場会社名 株式会社 ミスターマックス・ホールディングス

上場取引所 東 福

コード番号 8203 URL <https://www.mrmax.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平野 能章

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員財務部門管掌 (氏名) 石井 宏和

TEL 092-623-1111

四半期報告書提出予定日 2022年10月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年2月期第2四半期の連結業績(2022年3月1日～2022年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年2月期第2四半期	63,952	1.3	2,771	6.2	2,707	5.8	1,832	12.0
2022年2月期第2四半期	63,108	8.0	2,609	29.4	2,559	29.7	1,636	23.6

(注) 包括利益 2023年2月期第2四半期 1,853百万円 (12.3%) 2022年2月期第2四半期 1,650百万円 (24.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年2月期第2四半期	55.19	
2022年2月期第2四半期	49.31	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年2月期第2四半期	81,996	30,677	37.4
2022年2月期	82,216	29,706	36.1

(参考) 自己資本 2023年2月期第2四半期 30,677百万円 2022年2月期 29,699百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年2月期		0.00		27.00	27.00
2023年2月期		0.00			
2023年2月期(予想)				27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年2月期の連結業績予想(2022年3月1日～2023年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	127,800	2.4	5,000	11.4	4,800	10.4	3,000	5.1	90.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年2月期2Q	39,611,134 株	2022年2月期	39,611,134 株
期末自己株式数	2023年2月期2Q	33,222,413 株	2022年2月期	33,192,963 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年2月期2Q	33,203,976 株	2022年2月期2Q	33,193,561 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付書類の2ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年3月1日～2022年8月31日)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大が見られたものの、行動制限の緩和が行われたことから、消費活動は徐々に正常化に向かいつつあります。一方では、急激な円安や資源価格の高騰から、食料品や電力料などの価格が上昇し節約志向がさらに強まるなど、依然として厳しい経済状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、「普段の暮らしをより豊かに、より便利に、より楽しく」という経営理念のもと、地域の暮らしを支える総合ディスカウントストアとして、生活必需品を中心とした商品を毎日低価格で販売する「EDLP」の施策に注力してまいりました。

当第2四半期連結累計期間における既存店売上高前年比は100.7%となりました。3月～8月まで価格凍結を実施したPB商品が伸長するなど、低価格を打ち出した商品施策が支持を得ました。さらに、観測史上最も早い梅雨明けとなり猛暑が続いたことから、エアコンや扇風機などの季節家電が売上を伸ばしました。また、外出機会が増えてきたことを反映し、キャリーバッグや帽子、オーラルケア用品のほか、プール玩具やクーラーバッグなどのアウトドア関連商品も好調でした。巣ごもり生活で需要が高まっていたインテリア用品や収納家具のほか、米や日配品などの反動がある中、好調な商品が売上高を支えました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益(売上高+不動産賃貸収入+その他の営業収入)は639億52百万円(前期比101.3%)と増収となりました。

荒利益高は141億99百万円(前期比103.0%)となり前年を上回りました。在庫管理を徹底したことに加え、価格凍結の施策や商品開発に注力したことからPB商品の売上構成比が上がったことが寄与し、荒利益率は、円安や原材料高騰が続く厳しい局面の中、前年22.7%から0.4%改善し、23.1%となりました。

コスト面においては電力料の高騰やキャッシュレス決済手数料が増加するなどした結果、販売費及び一般管理費は、139億円(前期比102.0%)となりました。

これらの結果、営業利益は27億71百万円(前期比106.2%)、経常利益は27億7百万円(前期比105.8%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億32百万円(前期比112.0%)を確保し、増益となりました。改装やDXを推進し新たなサービスの提供や生産性向上によるコスト削減を推し進め、既存店の稼ぐ力を引き上げることで競争力のある総合ディスカウントストアを構築してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ7億53百万円増加し、177億66百万円となりました。これは主として、売掛金の増加9億16百万円、商品の増加9億1百万円などによるものです。固定資産は、前連結会計年度末に比べ9億73百万円減少し、642億30百万円となりました。これは主として、差入保証金の減少10億94百万円などによるものです。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ2億19百万円減少し、819億96百万円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ1億13百万円増加し、268億31百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金の増加14億96百万円などによるものです。固定負債は、前連結会計年度末に比べ13億5百万円減少し、244億87百万円となりました。これは主として、長期借入金の減少8億49百万円などによるものです。

この結果、負債は前連結会計年度末に比べ11億91百万円減少し、513億18百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ9億71百万円増加し、306億77百万円となりました。これは主として、利益剰余金の増加9億36百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月期の連結業績予想につきましては、2022年4月14日公表の予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,887	2,033
売掛金	2,645	3,562
商品	9,866	10,767
貯蔵品	40	43
その他	1,573	1,359
流動資産合計	17,012	17,766
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,439	13,742
土地	31,093	31,105
その他(純額)	4,320	4,111
有形固定資産合計	48,852	48,960
無形固定資産	1,036	1,089
投資その他の資産		
差入保証金	8,614	7,519
その他	6,756	6,695
貸倒引当金	△56	△34
投資その他の資産合計	15,314	14,180
固定資産合計	65,203	64,230
資産合計	82,216	81,996

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,412	8,909
電子記録債務	7,477	6,406
1年内返済予定の長期借入金	5,842	5,514
1年内償還予定の社債	286	286
未払法人税等	361	802
賞与引当金	861	672
資産除去債務	5	—
その他	4,470	4,240
流動負債合計	26,717	26,831
固定負債		
社債	1,714	1,571
長期借入金	15,316	14,467
退職給付に係る負債	1,082	1,087
資産除去債務	1,162	1,176
その他	6,516	6,185
固定負債合計	25,793	24,487
負債合計	52,510	51,318
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,229	10,229
資本剰余金	7,980	7,986
利益剰余金	14,081	15,017
自己株式	△2,603	△2,591
株主資本合計	29,688	30,642
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53	69
繰延ヘッジ損益	—	1
為替換算調整勘定	5	5
退職給付に係る調整累計額	△47	△41
その他の包括利益累計額合計	10	35
非支配株主持分	6	—
純資産合計	29,706	30,677
負債純資産合計	82,216	81,996

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)
売上高	60,662	61,480
売上原価	46,872	47,280
売上総利益	13,790	14,199
営業収入		
不動産賃貸収入	1,918	1,915
その他の営業収入	526	556
営業収入合計	2,445	2,472
営業総利益	16,235	16,671
販売費及び一般管理費		
販売費	2,772	2,869
一般管理費	10,854	11,030
販売費及び一般管理費合計	13,626	13,900
営業利益	2,609	2,771
営業外収益		
受取利息	17	14
補助金収入	—	6
保険配当金	—	7
貸倒引当金戻入額	30	1
その他	39	25
営業外収益合計	87	54
営業外費用		
社債利息	—	0
支払利息	97	91
システム開発中止に伴う損失	16	—
その他	23	26
営業外費用合計	137	119
経常利益	2,559	2,707
特別利益		
受取保険金	3	32
特別利益合計	3	32
特別損失		
災害による損失	15	24
固定資産除却損	10	23
退店関連損失	—	26
特別損失合計	25	74
税金等調整前四半期純利益	2,536	2,665
法人税、住民税及び事業税	673	740
法人税等調整額	237	96
法人税等合計	911	836
四半期純利益	1,625	1,828
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△11	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,636	1,832

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)
四半期純利益	1,625	1,828
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	16
繰延ヘッジ損益	—	1
為替換算調整勘定	6	1
退職給付に係る調整額	9	5
その他の包括利益合計	24	25
四半期包括利益	1,650	1,853
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,659	1,857
非支配株主に係る四半期包括利益	△8	△3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(重要な後発事象)

(子会社設立及び連結子会社間における会社分割)

当社は、2022年9月8日開催の取締役会において、新たに子会社(以下、新会社)を設立することを決議いたしました。

また、併せて、新会社を承継会社とし、当社の連結子会社である株式会社ミスターマックスを分割会社として、株式会社ミスターマックスの物流事業を承継する会社分割(以下、本会社分割)を行うことを決議しました。

1. 新会社設立及び会社分割の目的

当社は、当社グループの事業拡大及び効率化を目的として、新会社を設立した上、本会社分割によって、株式会社ミスターマックスの物流事業を新会社へ承継することを決定いたしました。

当社グループは、新会社において、既存取引先をはじめ、他社の商品集荷・在庫管理などを担うことで、物流支援サービスを充実させ、業容の拡大を図る方針です。また、これまで株式会社ミスターマックスにおけるディスカウントストア事業の一部として運営していた物流事業を新会社に承継することで、意思決定の迅速化及び機動的な事業運営を実現し、当社グループの企業価値の更なる向上を目指します。

2. 新会社設立及び本会社分割の要旨

(1) 日程

新会社設立に関する当社取締役会決議	2022年9月8日
新会社設立	2022年11月(予定)
吸収分割契約締結	2022年11月(予定)
吸収分割契約承認に関する株式会社ミスターマックス及び新会社株主総会決議	2023年1月(予定)
吸収分割効力発生日	2023年3月(予定)

(2) 新会社設立及び本会社分割の方式

2022年11月に当社100%出資による新会社を設立し、2023年3月、株式会社ミスターマックスを分割会社とし、新会社を承継会社とする吸収分割による事業承継を行う予定です。

(3) 本会社分割に係る割当ての内容

本会社分割による、株式その他の金銭等の交付はありません。

- (4) 本会社分割に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い
該当事項はありません。
- (5) 本会社分割により増減する資本金
本会社分割による資本金の増減はありません。
- (6) 新会社が承継する権利義務
新会社は、本会社分割の対象となる事業に係る資産、負債、契約上の地位その他これらに付随する権利義務のうち吸収分割契約書において定めるものを承継いたします。
- (7) 債務履行の見込み
本会社分割において、株式会社ミスターマックス（分割会社）及び新会社（承継会社）が負担すべき債務について、履行の見込みはあるものと判断しております。

3. 分割会社及び承継会社の概要

	分割会社	承継会社
(1) 名称	株式会社ミスターマックス	未定
(2) 所在地	福岡県福岡市東区松田1丁目5番7号	福岡県福岡市東区松田1丁目5番7号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 平野能章	社長（当社グループ内から選任予定）
(4) 事業内容	ディスカウントストア運営事業	当社グループのサプライチェーンにおける3PL事業 （集荷・在庫管理などの包括的受託）
(5) 資本金	10百万円	10百万円
(6) 設立年月日	2017年3月1日	2022年11月（予定）
(7) 発行済株式数	250株	未定
(8) 決算期	2月	2月
(9) 大株主と出資比率	当社 100%	当社 100%
(10) 財政状態及び営業成績		
決 算 期	2022年2月期	—
純 資 産	4,155百万円	—
総 資 産	22,771百万円	—
一 株 当 たり 純 資 産	16,621,503円	—
売 上 高	119,933百万円	—
営 業 利 益	2,305百万円	—
経 常 利 益	2,346百万円	—
当 期 純 利 益	1,502百万円	—
一 株 当 たり 当 期 純 利 益	6,010,905円75銭	—

4. 業績に与える影響

新会社設立及び本会社分割による2023年2月期の当社連結業績に与える影響は軽微となる見込みであります。開示すべき事項が発生した場合には、速やかに開示いたします。